各　　位

平成 24 年 10 月 30 日

東京都江東区豊洲五丁目６番５２号
株式会社オートバックスセブン
代表取締役　社長執行役員　　湧田　節夫
［コード番号　９８３２　東証・大証第一部］
問い合わせ先
執行役員　経理・財務担当　　勝島　雅彦
ＴＥＬ　０３－６２１９－８８２９

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年５月 10 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．平成 25 年３月期第２四半期累計期間業績予想数値の修正

（１）平成 25 年３月期第２四半期累計期間連結業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	116,300	6,200	7,100	4,200	128　67
今回修正予想　（Ｂ）	110,700	4,200	4,900	2,200	71　33
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△5,600	△2,000	△2,200	△2,000	－
増　　減　　率（％）	△4.8	△32.3	△31.0	△47.6	－
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 24 年３月期第２四半期実績）	114,731	6,166	7,259	4,225	125　15

（２）平成 25 年３月期第２四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	97,700	7,400	4,700	143　95
今回修正予想　（Ｂ）	90,000	6,500	4,200	136　14
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△7,700	△900	△500	－
増　　減　　率（％）	△7.9	△12.2	△10.6	－

２．平成 25 年３月期通期業績予想数値の修正

（１）平成 25 年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	242,500	14,500	15,900	9,500	291　04
今回修正予想　（Ｂ）	234,000	11,800	13,000	6,800	220　48
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△8,500	△2,700	△2,900	△2,700	－
増　　減　　率（％）	△3.5	△18.6	△18.2	△28.4	－
（ご参考）前期実績（平成 24 年３月期）	237,342	13,720	15,307	8,402	252　85

（2）平成25年３月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（A）	202,500	15,200	9,400	287　90
今回修正予想　（B）	191,200	14,300	8,300	269　05
増　減　額（B－A）	△11,300	△900	△1,100	－
増　減　率（%）	△5.6	△5.9	△11.7	－
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	195,601	15,148	8,835	265　80

３．第２四半期累計期間業績予想修正の理由

（連結）

第２四半期累計期間の業績予想につきましては、エコカー補助金制度による新車販売台数の増加に伴うカー用品の需要の増加に加え、当社が取り組んでいる売場改装や接遇改革などの効果により来店客数が伸びたものの、昨年の地上波デジタル放送への移行に伴うカーナビゲーションやチューナーの需要増の反動、またカーナビゲーションの単価下落などが大きく影響したことにより国内の卸売・小売売上が期初予想を下回る見込みであります。

このような厳しい事業環境の下、グループ一丸となってコスト削減などに努めたものの、売上高の減少を補うことができず、営業利益、経常利益、四半期純利益においても期初予想を下回る見込みであります。

（個別）

連結業績と同様の環境の下､オートバックスフランチャイズチェン加盟法人店舗における売上高の不振に伴い、主に卸売売上高が期初予想を下回る見込みであります。これに対して第２四半期において、販管費の削減を実施したものの、売上減少に伴う影響をカバーすることができず、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても期初予想を下回る見込みであります。

４．通期業績予想修正の理由

（連結）

通期の業績予想につきましては、第３四半期以降、カーナビゲーションの単価下落やエコカー補助金制度の終了に伴う新車需要の減少により、厳しい事業環境が続くものと予想いたします。このような環境の下、今期前半に新車を購入されたドライバーに対するスタッドレスタイヤ、ホイール、車内アクセサリーなどの販売強化や売場改装や接遇改革の効果を上げて行くことに加え、さらなるコスト削減を実行する予定でありますが、売上高の減少をカバーすることができず、営業利益、経常利益について期初予想を下回る見込みであります。また、投資有価証券の売却損失により当期純利益についても期初予想を下回る見込みであります。

（個別）

連結業績と同様、オートバックスフランチャイズチェン加盟法人店舗における売上高の減少から、主に卸売売上高が期初予想を下回る見込みであります。これに対してコストの削減に努めるものの、営業利益、経常利益について期初予想を下回る見込みであります。また、投資有価証券の売却損失等により当期純利益についても期初予想を下回る見込みであります。

なお、配当予想については期初の計画から変更はございません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以　上